

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	角館総合病院 給食業務			
担当課係名	総務企画 課	総務 係	作成者	富木弘一
総合計画での位置づけ	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち		総合計画のページ
	基本計画	地域医療、救急医療体制の整備		
	主要施策	地域医療連携の強化		49
予算費目	市立病院事業 会計	款	項	目
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規 / 継続の区分		継続
性質区分	☒ 市民サービス ☒ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理			
根拠法令等	地方公営企業法、医療法			
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
運営方法	☐ 直営 ☐ 直営(一部民間委託) ☒ 民間委託(全部) ☐ 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	入院患者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	入院患者の治療の一環として、安全でおいしい給食を提供すると共に、給食の提供に關しての業務の効率化と安全管理・衛生管理に努める
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	安全でおいしい給食の提供が出来るように、給食業務を実施する。低コストで業務の効率化を図るため、調理業務は民間業者へ委託している。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	年間給食数	目標	食	247,911	235,458	228,593	
			実績	食	247,911	235,458	228,593	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	給食材料単価 患者食187円 / 透析250円 ・ 患者食・透析とも187円	目標	1食	患者食187 透析250	187	187	
			実績	1食	患者食187 透析250	187	187	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				43,432	43,432	43,432	
	人 件 費 (B)		—		15,706	16,142	15,850	
	職 員 数		—		2.00	2.00	2.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				59,138	59,574	59,282	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				59,138	59,574	59,282
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		239	253	259	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		1,854	1,895	1,910	

【事務事業の今までの成果】

委託化により調理員に係る労務管理及び食材の発注業務を委託先が行うこととなり、病院栄養士は栄養指導等別の業務に従事する事が可能となった。委託料については管理費（人件費・諸費用）と食材費に分けて契約しており、食材単価は毎年実績金額を確認し契約している

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	公立病院改革ガイドラインに基づく各自治体病院の改革プラン作成と改革推進計画実行を指示
事業に対する市民の意見 （事業に対する期待、要望、苦情等）	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 1	A 現状のまま継続（実施）	現在の委託業者は食品の安全管理、スタッフへの指導等的確に業務を遂行していることから引き続き事業の継続は必要である。契約内容については入院患者の変動、物価の変動による食材費の高騰、医療費改定等を見据えながら委託金額、食材単価については毎年見直しを行う必要がある
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

委託後3年を目処に委託業者について再検討する事にしていたが、平成20年度は実績評価により現在の業者と継続で契約した。21年度以降については田沢湖病院の給食委託化も含めて、総合的に他社からも提案を受けて委託内容等の検討を行う事にしている

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 1	すでに民間委託化されており、今後は委託契約の内容や単価について適時見直しを行いながら、引き続き業務の推進が必要と考えられます。

一次評価診断図

